

## 【めむろ未来ミーティング日程 2】

令和4年1月11日(火)

10:00～11:00

### 美生コミュニティセンター

■参加者 10人

■芽室町 副町長、環境土木課長、政策推進課長補佐（佐々木、松田）、商工労政課長補佐、農林課長補佐

■記録 今森

#### ■対応・検討が必要な事項

##### ①バーベキューハウス及び水道使用について（生涯学習課）

- 1 開会
- 2 副町長挨拶
- 3 町からの説明事項
  - ・公共施設等再配置構想について
  - ・まちなか再生の取り組みについて
  - ・3回目コロナワクチン予防接種について
- 4 意見交換

#### 【意見】

まちなか再生について。現状、ほとんど人が歩いていないような状態の中、敢えて再生を目指していくということ自体が疑問。

住んでいる人からすると再生して欲しい気持ちは大きいと思うが、公共の施設などは中心街から外れており、学校関係も全て中心街から外れている。子どもがいないところには親も行かない。色々な問題はあると思うが、まちなかを再生するためには、学校などの施設を街中に持ってきて、駐車場を作るしかないと思う。

いくら公園などの施設を整備しても、町外から芽室町に来た人がそこで休んだりするようなことはあっても、芽室町民がそこに集うとはあまり思えない。

#### 【副町長】

『再生』という言葉では昔に戻るようなイメージを持たれる方も多いと思うが、ここでいう再生とは新しい街を作っていこう、というような（リボーン的な）意味がある。これは必ずしも商業とイコールというものではない。買い物をするためだけではなく、そこに行きたいと思うような魅力、そこに行く用事を作るというのが肝であると考えている。

中心市街地には空き店舗があるが、持ち主でそこに暮らしている人は実際あまり困っていない。町として全てを買収するわけにもいかず、非常に悩ましい問題。

ご意見にあった学校について。かつては中心市街地に芽室高校や芽室小学校があり、子ども達がまちなかにいた時代があった。ただ西小学校、西中学校ができて芽室高校の近くに大成駅ができた時点で高校生はまちなかに来ない。通う子ども達のためにはあそこに駅があるのは良いことなので、高校生が駅を利用したとしても、帯広ではなく芽室に来たくなる仕掛けが必要であると考えている。

先ほどのご指摘のとおり、単純に何か施設を作れば人が来るというものではない。施設よりも中身、こういった用事があれば人が来るか考え、その用事を作らなくてはならない。それを役所だけではなく、皆さんも含めて話し合っていきたい。

#### 【意見】

新嵐山の改革について、我々から見ても宿泊施設は充分だと思う。気になるのはパークゴルフ場で、もう少し何とかならないかと思う。コースは4コースから2コースに減り、整備も雑になったと感じる。ラフも草むらになってしまっており、普通にプレーしていてボールを無くしてしまう人もいる。パークゴルフ場の整備管理についてどのようにお考えかお聞きしたい。

【副町長】

パークゴルフ場の管理の件については様々なご意見をいただいている。コースの芝の件も伺っており、来シーズンに向けしっかり考えなくてはならないと思っている。

現状、第2リフト側の方はキャンプ場で多くの方の利用があり、元のスペースに戻すのは厳しい。しかし、少なくとも今あるコースについてはパークゴルフ協会の方とも相談し、コースの難易度のバランスも見ながらしっかり管理していきたい。

コース整備・管理について以前は森林組合に委託していたが、現在は新嵐山の直営で行っている。私の立場からも、現場にしっかり指示したい。

宿舎については老朽化しており、今のままでは駄目だと思っている。ただし、全部建て直すのはなかなか難しい。こういった宿泊のお客様をターゲットにして、どういうふうに使うかを考えてなくてはならない。ビジネスで使う方も、キャンプも含めて家族で使う方もいらっしゃる。1階と2階で役割を変えろというような取り組みも必要かもしれない。日々改善しながら改革に取り組んでいきたいと思っており、ご意見をいただきたい。

【意見】

新嵐山荘の近くのワイナリーについて。先日、あの土地は無償で提供されているという話を耳にした。ワイナリー建設の経緯含め確認したい。

【副町長】

ワイナリーが建っている場所について、元々は奥にテニスコートがありソフトボール場があったが、どちらかというあまり活用されていなかった。そこで何か新嵐山にお客様が来るような、魅力を発信できるようなものはないか募集をかけたところ、町内農業者の皆さんが中心となりワイン造りを行いたいということで応募があった。

町としては利活用予定のない土地だったため使用を許可しているが、賃貸ということで土地代はいただいている。また、ワイナリー側が何らかの理由で撤退する場合は現状復旧のうえ返していただく条件で

契約している。

作られたワインは新嵐山でも提供しているが、新嵐山の方も利益を得て販売しており、お互いお客様のために魅力を作っていきたいという考え。

【意見】

もう少し売店の品揃えがいいと良い。以前はちょっとしたお菓子なども取り扱いがあったと記憶しているが、現状としては寂しく感じる。連休中、雪がないのは残念だが、それなりに若い方も来ている。若い方は高いお金を落としていかないかもしれないが、昔は町民用の無料リフト券や、シーズン最終営業日の無料開放があり、子ども達と利用していた。子ども達と行くとお菓子の一つでも買っていく。レストランは素敵になり、MEMBERSHIPも食べてみたいという声を聞くようになった。でも、お店の方やお金の落とし方の方が残念に思う。

【副町長】

ご意見を踏まえ、日々改善していきたい。

【意見】

かつこうについて。研修施設としての役割を終え、新しい使い道を模索すると伺っている。それまでの期間はライフラインを落としてしまうとのことだが、地帯の集会などでバーベキューハウスを貸していただけではないか。夏に使わせていただく分については、コンロも持ち込みで考えているので、ハウス内の設備で炭を起すことは考えておらず、電源は必要ない。今はコロナ禍でそういった会合の機会もないが、将来的にそういった用途で使いたいと考えている。事前に申し込み、ねんりんの窓口で鍵を貸していただくというような体制をお願いしたい。①

【副町長】

バーベキューハウスについて、いきなり閉鎖することはない。地帯の方が使うときには協力体制を取りたいと考えている。

かつこう本体については、あの建物をそのまま利活用というのも難しいと思う。そこは時間をかけなが

ら考えていきたい。

また、先日芝田山親方より連絡をいただき、施設内の所蔵品について心配されているという話があった。町としては違う場所で町民の皆さんの目につく所に飾りたいというお話をさせていただいた。大乃国のほか、玉嵐や若十勝の展示物もあるため、相撲に関するものは整理したい。

温水プールは今年建て替えがあり、総合体育館も一部改修を予定している。現在は総合体育館があつて隣に勤労青少年ホームが繋がっている。これをもう一本西側に繋げて温水プールを建てる予定。勤労青少年ホームはランニングマシンのあるトレーニング室やちょっと運動できるようなスタジオとし、体育館・プールと機能を分ける構想。そういった中に相撲に関する展示ができないか考えている。

【意見】

かっこうのバーベキューハウスについて。外の水道だけは出るようにしてほしい。電気はなくてもなんとかなるが、水だけはあったらいいと思う。①

相撲資料の展示場所について。体育館だと、なかなか町外の方が足を運んで見ていくという風にはならないと思う。観光関係の場所に展示すれば、偶然通りがかった人にも芽室町が芝田山親方の出身地だと知っていただくこともあると思う。

【副町長】

そういった考えもある。こういった方に見ていただくかというところを整理しなくてはと思う。やはり出身の地区に展示されるべきと考える方もいるかもしれない。

【意見】

新嵐山の展望台について。見晴らしが良いので、町外から人が来たときには連れていく。キャンプにいられて、歩いて登っている人がいるのも目にする。ただ、頂上の汚いトイレをそのままにして簡易的トイレが設置されていることに疑問を感じる。

【副町長】

頂上の場所には水道が来ていないのがネック。どうしても汲み取り式のトイレということになる。頂上にデッキを作る計画もあるので、そういった中で整備していきたい。

頂上からの形式は芽室町だけでなく十勝の代表的な風景なので、今のままではなく、もう少し整備をしてお客さんが来るような仕掛けをしたい。理想としては夏場もリフトを動かして頂上まで行ければ一番いいと思う。ただ、どうしてもコストがかかってしまう。

【副町長】

コロナワクチン予防接種について。現在医療従事者の3回目接種を行っているが、今打っているのはもともとファイザーのワクチンが入っていて、その残りを使っている。3回目の接種に使うためのワクチンはまだ来ていない。

大卒の予定で行くと、2月の末に75歳以上の高齢者と65歳以上の高齢者にご案内を予定している。3月には60～64歳、4月からは50歳～59歳、5月からは20歳以上、最後に12～19歳。3回目の接種分も潤沢に入ってくると良いが、先が見えない状態。ファイザーを2回接種した方はモデルナの接種に不安を感じることもあると思うので、情報を見極めながら整理していきたい。

【意見】

芽室町内でワクチンの副反応の酷かった方はいるのか。

【副町長】

把握している限りは2人。重篤な症状ではなく、少し熱が出たり、その場で気分が悪くなってしまったというのはあった。

【意見】

ワクチン接種の予約について。妻と同じ時間帯にしようと思ったが、1人分ずつの予約なので、2人目の入力前に枠が埋まってしまった。家族で一緒の時間に予約を取る方法があればと思う。

【松田補佐】

そういった声はあるが、予防接種用の番号が個人ごとに振られているため、ネット予約は複数人同時に対応できない。

予約枠はネット申込分と電話申込分があるため、もしかしたらネット予約分の枠が埋まっても電話予約なら可能なケースもあるかもしれない。ただ、電話予約は皆さん一斉にかけはじめるのでなかなか繋がらないという問題もある。

【意見】

2人で同じ時間帯で予約を取りたいなら電話の方が確実ということか。

【松田補佐】

そういうことになる。ただ、公立芽室病院は電話予約を受け付けていない。

【副町長】

あおばクリニック、なかお内科でそういった予約をしたいのであれば電話の方が確実。

【松田補佐】

70歳以上の方は電話予約が多いと予想していたが、実際にはネットで予約されている方も多かった。ワクチン予約を機に、町の公式LINEに友だち登録をいただいている方も多い。かえて若い方より登録いただいている。

【意見】

新庁舎の駐車場は斜めのラインになっているが、停めづらい。どう出入りしていいのかも混乱する。雪が降ったら案内表示が見えなくなるのでは。

【副町長】

駐車場については多数のご意見をいただいている。設計の段階で高齢者の方がバック駐車をする際の危険性を鑑み、前向きに駐車しバックしてから出ていく方式が最も危険がないという意見を採用した。た

だ、なかなか慣れてないので、後ろ向きに駐車し入り口側から出ていってしまう方もいる。

今表示内容を変えてしまうと却って混乱を招くため、これから確定申告などで込み合う時期の動きを見て、来春もう1度整理しようと考えている。

【意見】

消防署南側の駐車場はもっと広くならないか。

【副町長】

広くするよう考えている。昔の車両規格の線なので狭くて停まらない。

【意見】

以前の未来ミーティングでも言ったが、草刈りの業者が道路の草を刈らずにそのまま行ってしまう。せっかく業者に少なからず予算を払っているのだから、それはないでしょうと常々思っている。以前も業者に対し指導しますと回答をいただいたが、残念。再度、指導の方を宜しく願いたい。

【副町長】

環境保全組合でやっていただいている部分、個々でやっていただいている部分、町が道路管理者としてやる分の日程がうまく共有できていなかったり、どこまで刈るという基準がそれぞれ合っていないところがある。整理させていただきたい。

【松田補佐】

道路の補修など、個別の案件は直接役場までご連絡いただきたい。

町の公式LINEで友だち登録いただくと、道路通報システムを利用できる。道路の破損状況の写真を撮って、ご連絡先を入力いただく方式のシステムで、24時間受け付けている。

【意見】

道路維持のパトロールはどのくらいの頻度で行っているのか。



【環境土木課長】

道路パトロールは週1回行っている。砂利道については2週に1回。ここで発見できない不具合については先ほど案内のありました LINE の通報システムを利用いただいている。7月から開始し、昨年12月までで30件ほどご意見・通報をいただいた。修理など、早急に対応させていただいている。ぜひ活用をお願いしたい。

【意見】

防災について。平成28年の台風災害や昨年12月の強風で被害を受けたが、何か要望を出しても財政的に苦しい、お金がないという話がまず出てくる。優先順位があるのは理解しているが、お金がないからやらなくていいということでもないと思う。また、役場の人からも、単にその場で「お金がないからできません」と断られるようなことが自分の経験上あった。そこをもう一步、お金ないなら何か考えようという気概を持ってほしい。それを期待したい。

【副町長】

様々な意見・要望、課題があり、一つ一つ全て役所が解決できるかと言われれば、なかなか難しい。ただ、解決できない課題はそのまま無くなるわけではないので、どうしたら解決できるのか一緒に話し合っ

てやっていくというところが重要。話し合う力といますか、それが今少し足りないのかなと思っている。

先ほどの草刈りの問題もそうだが、やる気を持って地域の方が頑張っている、役所がやることでそれが不平不満に変わったら何の意味もない。一つ一つの課題について、認識を共有しながらやっていくというのがこれから求められるのだろうと考えている。私の立場から職員に対してこういった能力をつけさせるかというところでいくと、そういった能力が必要なのだろうと思う

昨年12月の強風被害の際、夜に避難指示を出した自治体もあったが、芽室町は夜に避難することが二次災害に繋がると判断し、避難指示を出さなかった。

その時その時の判断で色々な考え方があるので「なぜ、そういう判断をしたのか」ということをしっかり伝えていくこともまた大事だと認識している。



11:01 終了